

科目名称：	造形表現指導法 I	
担当者名：	森田 ゆかり、坂井 亜也子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<ul style="list-style-type: none"> ・造形活動における全般的な発達・道筋を踏まえた上で、個々の「表現」や「思い」を読みとり受容できるよう「みかた」「考え方」を養う。 ・子どもの活動を支援するため、対象年齢や実態に即した活動内容・環境設定・対応などを考える。 ・造形活動を通して人と関わる面白さ、協働する喜びなどを知る。 		
授業の達成目標・到達目標		
<ul style="list-style-type: none"> ・多様な考えや価値観を尊重し、造形活動を通して他者との信頼関係を築いていくことができる。 ・造形活動における子どもの心身の発達や対応についての基本的な知識を持っている。 ・子どもの姿（表情・行動・言葉）を捉え、記録し、次の活動に活かす技術を身につけている。 		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、子ども・保護者・地域住民との良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	保育・幼児教育を取り巻く様々な問題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	保育・幼児教育の分野において、基礎知識を身につけるとともに、使命感、倫理観、責任感をもって専門的な知識や技能を修得し、これらを柔軟に活用していくことができる。	○

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP(1)					0
幼児教育DP(2)					0
幼児教育DP(3)			60	40	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》森田 アートスクール講師（2歳児～小学生の絵画・造形指導）	《経験年数1》2年6か月
	《内容2》森田 アートディレクター（子ども対象のワークショップなど企画・実践）	《経験年数2》4年10か月
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
グループワーク・プレゼンテーション（ディスコース）	他者の考えを尊重し、自分の考えを他者が納得できるように伝えることができる。	他者の考えを尊重し、自分の考えを論理立てて伝えることができる。	他者の考えを尊重し、自分の考えも伝えることができる。	自分の考えが他者に伝わらない。活動にあまり参加していない。
指導案作成（デザイン）	表現の手段や方法を対象者・場・ねらいに即して応用して考えられる。	表現の手段や方法を対象者・場・ねらいに即して考えられる。	表現の手段や方法をねらいに即して考えられる。	表現の手段や方法をねらいに即して考えられない。活動にあまり参加していない。
主体的・計画的取り組み（事前学修を含む）	授業の目標を理解し期待以上の主体的な学修が見られる。	授業の目標を理解し主体的・計画的に取り組んでいる。	授業の目標を理解し主体的・計画的に取り組もうとしている。	主体的・計画的に取り組めない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 「新しい集団・新しい人間関係」に対する気持ちの確認、授業の概要・構成・年間計画（電子黒板使用）	シラバスおよび履修説明会で配付した資料を読んでおく。	15分
第2回 レッジョ・エミリアの幼児教育から学ぶ① VTR『レッジョエミリア市の挑戦』（電子黒板使用）	レッジョ・エミリアの幼児教育について調べ学習	20分
第3回 レッジョ・エミリアの幼児教育から学ぶ②（グループワーク/ディスコース）	第2回の授業内容を復習。	15分
第4回 レッジョ・エミリアの幼児教育から学ぶ③ 学びを見える形にする	第3回の授業内容を復習。	15分
第5回 コミュニケーションワークショップ、対話による鑑賞①（グループワーク/電子黒板使用）	1年次「基礎教養Ⅰ（学びの発見Ⅰ）」の授業内容を復習。	30分
第6回 対話による鑑賞②（グループワーク/電子黒板使用）	1年次「基礎教養Ⅰ（学びの発見Ⅰ）」の授業内容を復習。	30分
第7回 指導案①「素材」「行為」からこどもの興味・関心を探り、指導案を考える（電子黒板使用）	1年次の指導案作成に関する授業内容を復習。	15分
第8回 指導案②一人ひとりが指導案作成	1年次の指導案作成に関する授業内容を復習。	15分
第9回 指導案③ディスコース・グループで一つの指導案作成（グループワーク）	第5回の授業内容を復習。	15分
第10回 指導案④指導案を考えるための教材研究をもとに指導案修正（グループワーク）	造形教材研究「指導案を考えるための教材研究」ワークシートを整理。	30分
第11回 指導案④指導案を考えるための教材研究をもとに指導案修正（グループワーク）	造形教材研究「指導案を考えるための教材研究」ワークシートを整理。	20分
第12回 指導案⑤全グループの指導案を配付、作成グループによるプレゼンテーション・共有	第8回、第9回の授業内容を復習。発表に必要な物を準備しておく。	20分
第13回 オープンキャンパス「高校生の体験授業」計画	1年次の授業内容、特化造形表現の授業内容を復習。	20分
第14回 オープンキャンパス「高校生の体験授業」計画	1年次の授業内容、特化造形表現の授業内容を復習。	20分
第15回 前期授業の振り返り・まとめ（電子黒板使用）	ドキュメンテーション、ワークシート、資料などを整理しておく。	30分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、上記内容以外に次回までの小レポートをまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。
指導案50%、事前学修課題およびワークシート10%（毎回配付されるワークシートを授業内で各自作成し提出）、グループワーク・プレゼンテーション40%

課題に対してのフィードバック

「ドキュメンテーション」をもとに→グループで「ディスコース」（必要に応じてさらに全体で「ディスコース」）→次の活動を「デザイン」することにより、学びのサイクルが生まれる授業を試みている（レッジョ・エミリアの「3つのD」 KINJO特化造形表現モデル）。また、提出されるワークシートなどに担当者が目を通し、担当者も次回の授業をデザインしている。

教科書・参考書

教科書：『美育文化ポケット 第33号～第36号』公益財団法人美育文化協会（教科書は授業内で適宜使用する）
参考書：『特化造形表現・実践のまとめ』バックナンバー
必要に応じてプリント配付